令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. **75** ID 603207

【施設状況】											
グループ名称	若槻公民館										
指定管理者名		若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」 2700150073954									
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副							
	3377	若槻公民館	館								
構成施設											
施設分類	01	企画型		施設利	用者圏域	01	地域	施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	会	議室(大・中・・	小)各1、三登山ホール 1、米	斗理教室	1、図書室	₹ 1.	体育館	1			
施設設置目的			村その他一定区域内の住民の 康の増進、情操の純化を図り								美を行い、もって住民の
基本方針等			244条)教育基本法(第12条 用者の安全対策を図り、平等、				設である	ること		社会教育法(第20条、第22条)に定
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に 大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

_	<u>]</u>	人口生日	の姓土江											
	指定管理者名 若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」													
	指定期間 令和6年4月		4月1日	~	令和11年3月31日	5年	当該指定管 管理運営[平成2	28年4月	1日			
	指 定 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 管 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。								評価					
	者の健全性	特記事項 (問題等があった場合に										3		

<u>2</u> 施設の有効活用 No. **75**

		利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価				
		利用者数	人	16,489	22,845	24,927	26,925	108%					
		利用率	%	35.0	31.3	32.6	33.2	102%					
++-=	7.41CD \L\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\												
(利	_{役利用状況} 用者数、件												
数、和	家働率など)												
		(特記事項)											
		利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く)											
	区分	協定内容·指	定管理者提紧	₹	追加	追加事業、未実施事業及び未実施の理由							
事業実施	市指定事業	 ・若槻公民館の利用許可に関する業・社会教育法第22条に規定する事・若槻公民館の設備及び維持管理は・教育委員会が定める業務や受講料・若槻公民館の利用の許可、不許可・施設、付属品及び物品の維持管理 	業の実施に関 関する業務 4の収受に関 ^っ 及び取り消し	する業務 に関する業務					3				
内容	自主事業	提案を求めていない											
サービス維持・ 向上の取組み (広報等) ・公民館報 3回/年 発行(全戸配布)。公民館ブログの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、区長等の協力を得て、毎月回覧を行った。また、マスメディア(週刊長野)も活用し ・近隣の公共施設(保健センター、市立公民館、児童館など)にちらしの掲出を依頼した。								した。					

3 利用者評価

	区分		内容	評価				
	利用者要望把握	1) 利用者要望把握方法 2) 調査、会議等の内容 学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者 に一ズの把握をした。 貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 3) 調査、会議等の結果 応した一般講座:27講座(82回) 講座参加者数:1,691人 ち アンケート回答者数744人 満足:79.6% やや満足:18.1% やや不満:2.3% 不満:0% 満足、やや満足の合計 97.7%)						
利用者評価	要望・苦情等利用者からの評価・	構工学博士 澤田弘宗先生の講座では火星衛星接の講座では長野県の方言について学び、若槻の・バドミントン講座では初心者向けと経験者向けができた。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・受講生が古文書を読み解く時間を作ったが、読・足に不安のある利用者は2階へ上がる階段がき 《対応措置》 ・講座を様子を見ながら、困っていする受講者の	に分けて開講し幅広い年代層の方にバドミントンの基礎や技術を高めてもらうこと はことができない受講生には長すぎると指摘があった。 でついとの声がある	4				

4 事業収支 No. 75

4 事未收义											
			指定管理者収支の	(令和6年度)				市の収	支 支		評価
	\setminus	年度	き計画額	収3	支実績額	\setminus	令和6	年度決算	令和5年度	[決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額	
		利用料金	2,480,000	利用料金	3,184,000		使用料	1,350	使用料	3,750	
		指定管理料	14,628,000	指定管理料	14,628,000		雑(納付金)	0	雑(納付金)	210	
		委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料	6,000	行政財産目的外使用料	6,000	
	収入	販売収入等	0	販売収入等	0	歳入	貸付料	0	貸付料	0	
	4.7.	その他収入	40,030	その他収入	43,128	が入して	その他	0	その他	0	
		計	17,148,030		17,855,128		計	7,350	計	9,960	
		人件費	8,865,000	人件費	8,884,547		指定管理料	14,628,000	指定管理料	13,744,000	
		設備管理費	260,952	設備管理費	249,756		委託料	311,300	委託料	0	
		備品購入費	100,000	備品購入費	0		需用費	0	需用費	0	
事業収支		修繕費	200,000		154,385		役務費	0	役務費	0	
(単位:円)		光熱水費	1,870,000	光熱水費	2,018,301		使用料・賃借料	2,774,248	使用料·賃借料	2,836,156	3
		事業費	3,202,300	事業費	3,142,100		修繕費	59,400	修繕費	0	
	支出	事務経費	1,749,778	事務経費	2,165,121	歳出	工事請負費	0	工事請負費	594,000	
		本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	924,000	
		その他	900,000	その他	810,700		その他	0	その他	0	
	-	計	17,148,030	計	17,424,910		計	17,772,948	計	18,098,156	
	自主	収入		収入							
	事業	支出		支出							
		自主事業損益	0	自主事業損益	0						
	損益 0			430,218		-17,765,598			-18,088,196		
		人件費5	比率【人件費(賃金	等)/令和6	年度指定管理者事	業支	出】(支出に占	める人件費の割合	合)	51.0%	
	本	社経費が、計	画額と実績額で昇	異なる理由							

5 管理運営全般 ※ すべて ☑ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。 区分 確認内容 チェック欄 評価 1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人) 職員配置 J 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか 管理運営全般 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか 3 1 平等利用 2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか 4 経理 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか 施設・備品の 維持管理 1 2 備品は I 種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか 1日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか セルフモニ 1 タリング等 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか

※ すべて ☑ で、「3」。1ヵ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、 評価理由欄に理由を記載してください。 6 危機管理体制

75 No.

	区分	確認内容	チェック欄	評価			
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか					
2		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか					
危機		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか					
管理	個人情報保護	ま護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか					
体制	防犯、防災			၁			
iba	対策	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	V				
	緊急時対	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか					
	rt /+#II	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか	. 🗸				

7 地域連携

	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営 であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。							
t #h	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由						
地域連携	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。		4					

【総	合評価】						
	評価項	ē目	評価	得点		総合評価	
	指定管理者の健全	全性	3	6	合計得点	指定管理者	の健全性
	施設の有効活用		3	12	口印丹州	地域連携 3	施設の有効活用
総合評	利用者評価		4	16		2	
評価	事業収支		3	6		危機管理	利用者評
	管理運営全般		3	12	66	体制	価
	危機管理体制		3	6		管理運営	事業収支
	地域連携		4	8		全般	基準値
	評価理由	・利用者から・施設内の点 【地域連携を・スマホ教室	議検をし、修繕や備 そ4にした理由】 こでは、地元の学生	反映したこと 情品の整備を きがサポート隊	速やかに行い、利値	や職員の協力体制について利用者から性と安全性を高めたこと。 を評価した ど丁寧な指導が好評であったこと。 講座を提供していること。 を評価した	Ē.
		i	前年度からの課題	<u> </u>	改善	伏況 改善案等(改善されていない場合)
	組み・改善案等 (施設所管課)						
次年度の目標・ 取組み等 (施設所管課) ・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。							
					75-4		

【指定管理者自己評価】 No. 75

指	定	答:	:甲	耂	白	ᄅ	哑	価

- (1) 今年度の取組みに対する評価
- ① サービス向上に向けての取組み

利用者が安全で快適に利用できるように、施設内の整理整頓や清掃に努めた。 地域の方からの提供でご自身で制作されたおりがみ作品やサークル活動で 制作した作品の展示をした。また季節の花提供していただき、施設内を明るく彩ることができた。館内が明るくなり誰でも入りやすい雰囲気ができて利用者 に楽しんでもらうことができた。

体育館の音響のハウリング(不快に感じる音を発生する現象)してしまうため修理を行った。使用中にキーンという不快音がなくなり使用しやすくなった。

② 業務の効率化に対する取組み

講座の会場準備等を職員の協力で早めの準備をすることができた。 事務室の複合機をリースで購入した。印刷が早く印字がきれいで作業効率が良くなった。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

体育館の窓側付近の雨漏り、二階廊下天井からの雨漏り等、修繕が必要な個所が多々ある状況。会議室の出入り口のカギと体育館の窓のカギが老朽化のためかけにくい状況があり検討が必要である。令和7年度4月から東側駐車場の利用ができなり、利用者が多いときは検討が必要である。 当公民館施設のほとんどが2階にあるため、利用者のほとんどが高齢者のため2階に上がる階段の勾配がきついく、段差があるため足腰の弱い高齢者が利用しづらい施設である。過去には、階段を下ろうとした高齢者が階段の途中から落ち怪我をした事故が発生している。誰もが安心して公民館が利用できるようエレベーターの設置を要望している。2階に上がれないため図書館や公民館が利用できにくい方をなくすためにも引き続き早期の建て替えをお願いした

(3)総合評価 評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者 自己総合評価



① 評価理由

予定した講座や事業を実施することができた。講座の参加者も増加し活気に満ちた公民館活動ができるようになった。職員や住民自治協議会、または地域 の方の協力のおかげで講座を安全に開催することができた。よって「C」とした。

② 次年度以降の取組み

出会い・ふれあい・学び会いをキャッチフレーズに絆をより大きく育てられる講座や学習を積極的に支援し、親子地域の方が共に人づくり、絆づくりができるよう学びの場、交流の場として親しみやすく明るい公民館を目指します。公民館を利用される皆さんが、共に学び、共に楽しみ、共にはぐくみ、いつも笑顔で思いやりのある心と豊かな感性を育てる講座や健康学習などを積極的に推進し、世代を超え地域の皆さんが利用しやすい公民館を目指します。地域と連携し公民館活動の推進を図ります。